

2019年版 中国の燃料電池（Ⅱ）企業編

発刊：デジタルリサーチ 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル

TEL:052-221-6616

■ 本資料の概要

（Ⅱ）企業編

- ・発刊日：（Ⅱ）企業編 2018年12月10日発刊
- ・資料体裁：A4版（カラー印刷／簡易製本） 184ページ
- ・定価：書籍版（本体 250,000円+消費税）／CDPOM添付版本体 285,000円+消費税

■ 本資料の特色

・欧米企業を主体にして海外の燃料電池開発動向を集成した弊社刊「世界の燃料電池」（Ⅰ）市場編、（Ⅱ）企業編の中国市場版です。中国政府は、第13次期5か年計画（2016～2020年）の国家戦略新産業発展計画のなかで、新エネルギー自動車産業の発展について、燃料電池車の開発と産業化を進める方針を示した。2020年の達成目標は、水素ステーション100個所、FCV（トラック、バス、商用車を含む）1万台、総生産高3千億元（約5兆円）である。それをうけ、自動車メーカーだけでなく、巨大エネルギー企業や化学メーカーなど多数の企業が水素・燃料電池事業に参入してきた。

・2017年4月に発表された「自動車産業の長期発展計画」や中国版「燃料電池ロードマップ」ではより具体的な長期見通しの下に、水素製造や大半が輸入に依存している部材の国内サプライチェーンの構築など燃料電池産業を支える基盤整備にも乗り出している。中国のFCVの市場規模は2020年で5千台、2025年で5万台、2030年には百万台に達する見通しだ。EVと同様、世界最大のFCV市場が現出する可能性が高い。

・中国政府は電気自動車戦略で、世界でもっともEVが普及した市場を作り出した。中国政府は次世代新エネルギー車としてFCVを位置づけ、FCVの実用化と商用化を達成することを国家目標に定めたといえる。EVもFCVも国内の大気環境の改善に資するだけでなく、水素インフラを含めた次世代のクリーン輸出産業として極めて有望であるといえる。

・中国の燃料電池産業は立ち上がったばかりであり、日本や欧米に比較してベースができていない。しかし路上で走っている燃料電池バスやトラックの台数は世界一の規模になりつつある。Ballardなど世界の有力企業はこぞって中国に進出し、スタックの現地生産にも乗り出した。中国現地資本の有力なスタックメーカー、部材メーカーも登場してきた。

・弊社では急速に立ち上がりつつ中国の燃料電池産業の現状を、中国政府の政策、燃料電池の開発動向、FCVの市場投入の現状、欧米企業との提携関係、市場規模、需要分野の現状、PEFCなどタイプ別の動き、参入企業の動向を集成し、（Ⅰ）市場編、（Ⅱ）企業編の2分冊で発刊する。

*** 「2019年版 中国の燃料電池（Ⅰ）市場編」は、2019年1月末の発刊予定です。

【(Ⅱ) 企業編 内容案内】

中国の水素・燃料電池市場参入企業を個票形式でまとめた最新資料

・収録対象企業：固体高分子型（PEFC）の燃料電池スタック、燃料電池システム、圧縮機などの周辺機器（BOP）、水素供給システム、高圧水素ポンプ、メタノール改質、水素貯蔵材料、有機液体水素、水素製造装置、スタック部材（MEA、カーボンセパレータ、金属セパレータ、GDL、電極触媒、イオン交換膜）、水素ステーション、水電解水素製造装置、炭素繊維、燃料電池バス、燃料電池物流車、バックアップ電源、など。そのほかに、固体酸化物型（SOFC）材料、システムメーカーなど合わせて 210 社を個票形式で収録。

● 個票・サンプル

蕪湖國氫能源股份有限公司

URL : <http://www.hi-nergy.com/>

社名	蕪湖國氫能源股份有限公司（芜湖国氢能源）									
設立	2014 年	所在地	蕪湖市高新技術開發区南区中小企業創業園 4 号							
TEL	0553-2880159	提携など	清華大学、同濟大学、武漢理工大学、四川大学、蕪湖市政府などの協力を得て設立。武漢新能源汽車工業技術研究院有限公司と提携（2018.10）							
従業員数										
売上高（2017 年）		事業概要	燃料電池スタック専業。							
参入分野	燃料電池の種類				燃料電池の参入分野			用途/分野		
	PEFC	DMFC	SOFC	水素関連	スタック部材	周辺機器	システム化、組立等	Transport	Stationary	Portble
	●				●		●	●		●
開発製品	<p>●モバイル燃料電池（8W）：江蘇中靖新能源有限公司と共同開発したノートパソコンや携帯電話、ビデオカメラなどを充電できる。中靖新能源が開発した水素発生装置と組み合わせたモバイル充電器で、重量は 560g。（2016.6）</p> <p>●車載用燃料電池（30kW）：東風特汽の冷凍車に搭載。</p>									
最近動向	蕪湖國氫能源は、東風汽車集團の東風特汽（十堰）専用車有限公司と共同で、燃料電池冷凍車（スタック出力 30kW）を開発した。北京、武漢、上海で 1,000～1,500 台が稼働する予定で、現在武漢市にある物流業者との間で総額 10 億元の商談が始まっている。（2018.7）									



図。蕪湖國氫能源と東風特汽が開発した燃料電池冷凍車（左）、右は燃料電池充電器

・収録企業は以下の通り。

A

愛德曼氫能源裝備 安徽明天氫能科技股份 安徽元雋氫能源研究所 安科捷能科技發展集團 安泰科技股份

B

Bshark (深圳黑鯊科技) 北京中科富海低溫科技 北京碧空氫能源科技 北京伯肯節能科技 北京低碳清潔能源研究所 北京光華世通科技 北京海德利森科技 北京浩運金能科技 北京匯通有利能源科技 北京金能燃料電池 北京京城機電 北京科泰克科技 北京藍吉新能源科技 北京氫璞創能科技 北京日久新能源科技 北京世紀富原燃料電池 北京天高隔膜壓縮機 北京天海工業 北京天奇隆燃料電池科技 北京億華通科技 北京中科富海低溫科技 北京中電豐業技術開發 北汽福田汽車 比亞迪股份 (BYD)

C

China Fuel Cell Energy 長城汽車 長江汽車 潮州三環(集團) 成都華氣厚普機電設備 成都客車 淳華氫能科技

D

大連光陽機電 東風汽車 東風特種商用車 東莞東洋新能源技術 東莞氫宇新能源科技 東旭光電科技 東岳集團

F

佛山市飛馳汽車製造 福建雪人 福建亞南電機

G

廣東廣順新能源動力科技 廣東國鴻氫能科技 廣東索特能源科技 廣東合即得能源科技 廣東國鴻巴拉德氫能動力 廣東猛獅新能源科技 廣西玉柴機器集團 貴研鉑業 國家能源投資集團 國達氫能源科技

H

哈爾濱佳泰達池科技 海南省海洋油氣研究所 杭州長江汽車 杭州聚力氫能科技 杭州鑫能石墨 河南豫氫動力 河南豫氫動力裝備 河北奧冠電源 河北龍帝能源科技 衡水尚德燃料電池科技 鴻基創能科技 湖北氫陽新能源 湖北三環專用汽車 湖南科力遠新能源 淮安鉑沃爾福產業

L

駱駝股份

J

江蘇冰城氫能科技 江蘇德威新材料 蘇州弗爾賽能源科技 江蘇華昌化工 江蘇華源新能源科技 江蘇氫電新能源 江蘇氫聯合新能源 江蘇清能新能源技術 江蘇申建氫能新材料 江陰滬江科技 金鴻控股集团 金龍客車

K

開沃新能源汽車 昆山桑萊特新能源科技

N

蘭州長城電工 南京晶能氫燃料汽車科技 南京寧澳新能源 南通安思卓新能源 南通百忒能源科技 南通澤禾新能源科技 南通中集能源裝備 寧波申江科技 寧波索福人能源技術 寧波正道燃料電池

Q

青年汽車集團 氫源（上海）動力科技 清華大學

S

三碩科技（贛州） 廈門廈鈞新能源材料 山東華夏神舟新材料 山東賽剋賽斯氫能源 山東沂星電動汽車 山東重工集團 山西美錦能源 上海申沃客車 上海漢鐘精機 上海瀚氫動力科技 上海河森電氣 上海恒勁動力科技 上海弘楓實業 上海交通大學 上海攀業氫能源科技 上海汽車集團（SAIC） 上海氫楓能源技術 上海清能燃料電池技術 上海中科同力化工材料 上海同濟科技實業 上海燃料電池汽車動力系統 上海三愛富新材料 上海申龍客車 上海神力科技 上海舜華新能源系統 上海治臻新能源裝備 上海重塑能源科技 上海博氫新能源科技 深圳國氫新能源科技 深圳海能動力 深圳市長盈精密技術 深圳市科比特航空科技 深圳市陸地方舟新能源電動車集團 深圳市南科燃料電池 深圳市氫雄燃料電池 深圳市雄韜電源科技（雄韜）神華集團 神華新能源 石家莊安瑞科氣體機械 時代上汽動力電池 雙登集團 蘇州弗爾賽能源科技 蘇州華清京昆新能源科技 蘇州競立制氫設備 蘇州氫潔電源科技 蘇州擎動動力科技 蘇州中氫能源科技

T

騰達建設集團 天津市大陸制氫設備 圖們市泰平燃料電池

W

威海光威複合材料 濰柴動力 蕪湖國氫能源 武漢眾宇動力系統科技 武漢長海電力推進和化學電源 武漢地質資源環境工業技術研究院 武漢理工大學 武漢理工新能源 武漢氫陽能源 武漢市能智達科技 武漢泰歌氫能汽車 武漢喜馬拉雅 武漢雄韜氫雄燃料電池科技 武漢銀泰科技燃料電池

X

錫力科技 新青年控股集團 新天綠色能源 新興能源裝備 新源動力

Y

亞太燃料電池科技 揚志股份（台灣） 銀隆新能源 營創三征（營口）精細化工 宇通客車 雲南冶金集團創能金屬燃料電池

Z

張家港富瑞特種裝備 浙江巨化 浙江凱恩特種材料 浙江康盛 浙江南都電源動力 浙江氫途科技 浙江潤豐能源集團 浙江尤夫高新纖維 中博源儀徵新能源科技 中材科技 中車青島四方機車車輛 中車唐山軌道客車（TRC） 中複神鷹炭素纖維 中國第一汽車集團 中國航天科技集團 中國科學院 中國科學院過程工程研究所 中國石化上海石油化工 中國石油化工集團 中國中車 中國重型汽車集團 中國北方稀土（集團）高科技 中國船舶

重工集團公司第七一八研究所 中國東方電氣集團 中國華能集團 中集安瑞科 中節能
 風力發電 中科院大連化學物理研究所 中氫燃料電池 中山大洋電機 中通客車 中興電
 工（台灣）中植新能源汽車 重慶長安汽車 重慶宗申動力機械 淄博聯強炭素材料

----- 【 申込み用紙 】 -----

【デジタルリサーチ行きオーダーフォーム】

FAX : 0 5 2 - 2 5 3 - 8 6 8 5
 e-mail: endend@digital-research.co.jp

下記の資料を申し込みます。

資料タイトル	体裁	発刊	定価（税別）	申込冊数
2019年版 中国の燃料電池 （Ⅰ）市場編	2019年 1月刊	書籍のみ	本体価格 250,000円	（ ）冊
		書籍+CD 添付版	本体価格 285,000円	（ ）冊
2019年版 中国の燃料電池 （Ⅱ）企業編	2018年 12月刊	書籍のみ	本体価格 250,000円	（ ）冊
		書籍+CD 添付版	本体価格 285,000円	（ ）冊

会社名 : _____

住所 : 〒 _____

電話 : _____ e-mail: _____

購入部署 : _____

担当者（ご氏名） : _____ 印